

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、救急医療科では、東京医療保健大学大学院看護学研究科が実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究機関に対して提供しています。

下記研究課題での利用のため本学から提供する診療情報等については、この研究での利用・提供についての同意が研究対象者の方から得られていませんが、当該利用・提供を行うことについて、「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由等が倫理委員会によって認められて、本学の理事長が提供を許可しています。

この研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 機械的胸骨圧迫装置に対する医療者の認識とより効果的な活用方法に関する考察

[代表責任機関及び研究代表者]

代表責任機関・研究代表者：東京医療保健大学大学院 看護学研究科 教授 酒井一夫  
本研究に関する問い合わせ先：東京医療保健大学大学院 看護学研究科 高度実践看護コース 浅野健太郎  
Eメール：[kg019001@thcu.ac.jp](mailto:kg019001@thcu.ac.jp)

[利用・提供の対象となる方]

東京女子医科大学東医療センター救命救急センターに外傷、溺水、急性薬物中毒、低体温症を除く院外心停止にて救急搬送された患者様（2019年1月1日～2019年12月31日）

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、搬送時初期波形、機械的胸骨圧迫装置の使用の有無、自己心拍再開の有無、転帰

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

機械的胸骨圧迫装置に関する使用の現状調査及び医療者へのアンケート調査と併せて、機械的胸骨圧迫装置のより効果的な活用方法の検討をすることを目的とする。

[利用・提供期間および主な提供方法]

期間：倫理委員会承認後より2021年3月までの間（予定）  
提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（研究担当者がデータを直接収集）

---

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者及び研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：救急医療科 医師 庄古 知久  
研究内容の問い合わせ担当者：看護部 救命ICU 看護師 小林 孝子 / 浅野 健太郎  
電話：03-3353-8111（内線）7111（応対可能時間：平日9時～16時）  
Eメール：[asano.kentaro@twmu.ac.jp](mailto:asano.kentaro@twmu.ac.jp)